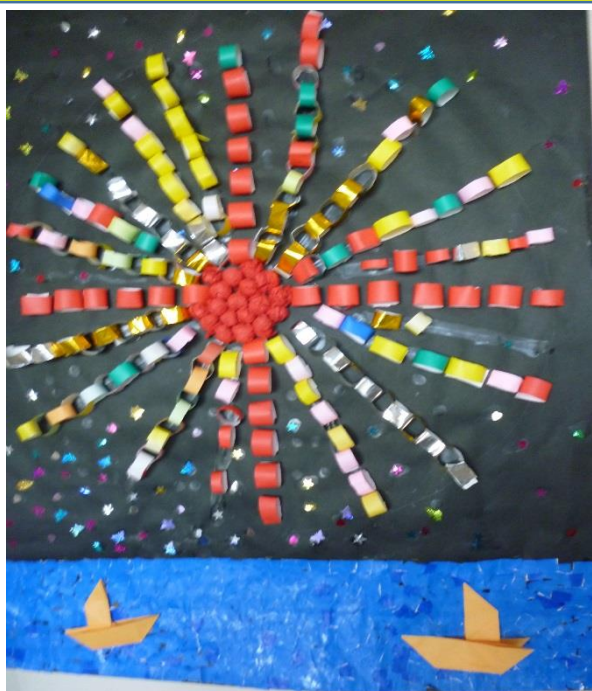


## デイ便り



バババァーンと大きな花火がわかばに上がり、コロナが終息することを皆で願いながら、花火の壁画を作りました。オリンピックのテレビ放送を見て「どっちが日本よ」と、わいわい言いながら手を叩いて応援してくれています。暑さに負けないでがんばりましょう！

## 7月のデザート



暑い夏に涼しさを呼ぶ甘酸っぱいヨーグルトです。(管理栄養士)

## 暮らしのひとコマ

2019年4月のわかば新聞の暮らしのひとコマ欄に「Aさんの写真」というコラムを掲載しています。身寄りのないAさんがわかばに持ってきた写真を「この写真に写っている人達とAさんはどんな関係だろう」と思いながら職員が写真立てを手作りして部屋に飾ったという話です。この話に思いがけない続きができました。

写真立てには2枚の写真が飾られていて、1枚には男性が一人写っていました。「ご主人かな？息子さんかな？」と気になっていましたが、ある日、突然この男性がAさんの面会に来られたのです。男性は人づてにAさんがわかばに入所されている事を知り、会いにきてくれたのです。彼は居酒屋で働いておられたそうですが、「Aさんは仕事帰りによくお店に寄ってくれました。大変お世話になった方です」と。

Aさんは、男性を見るとすぐに誰かわかったので、とても喜んで目に涙を浮かべて感激されていました。男性によると、これまでよく来てくれていたAさんが、ある時から突然来られなくなったので「どうしているのか」とずっと気にかけておられたそうです。

Aさんがわかばへ持ってこられた2枚の写真。とても大切にされていたのでしょ。

ほんの偶然で再会することができ、人生の縁とは不思議なものだと思いました。



## 編集後記

シヨートステイの送迎に行った時の事です。その利用者様は小さな赤ちゃんを抱いてやさしい表情をされていていました。利用者様のお宅にはお孫さんが出産のために里帰りをされていて、無事お孫さんが誕生、その赤ちゃんを抱いていたのです。その方は以前からシヨートステイを利用されていましたが、表情が乏しかったり、ウトウトされていたりする印象がありました。

でもおばあちゃんとしてひ孫を見つめることでシャキッと受け答えもはっきりして、ひ孫や家族との関りでの良い影響をあらためて感じました。まだまだコロナの影響で、わかばでもイベント事が中止であったり、家族との外出や面会が制限される状態が続いています。みんながニコリできるような機会を早く作れたらなあ、と感じた出来事でした。

(Y・N)